

2018/06/30

村田 真 「上の空」



「デルフト」(2018) キャンバスに油彩 49×117.5cm

会期：2018年7月20日(金)～8月11日(土) 13:00 - 19:00

*日・月・火・祝日は休廊。ただし最終日8月11日(土・祝日)は開廊致します。

オープニングレセプション：7月20日(金)18:00 - 20:00

アーティストトーク：7月21日(土)、8月4日(土) / 各日 17:00 - 18:00

会場：SNOW Contemporary / 東京都港区西麻布 2-13-12 早野ビル 404

【同時開催】「1940's フジタ・トリビュート」

会期：7月28日(金)～8月15日(水) 月曜休館 10:00-18:00

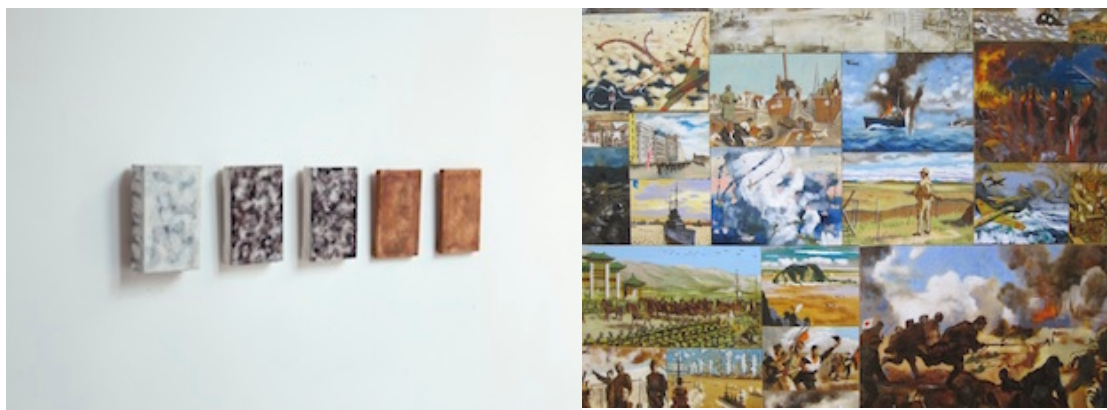
会場：東京藝術大学陳列館 入場無料

出品作家：秋本貴透、小沢剛研究室、O JUN、笹川治子、中山岩太、野見山暁治、平川恒太、村田真、米田知子

■村田真 個展「上の空」のご案内

SNOW Contemporary では 2018 年 7 月 20 日(金)から 8 月 11 日(土)まで、村田真による個展「上の空」を開催いたします。

村田真は『ぴあ』編集者を経て美術ジャーナリストとして長らく活躍し、「美術家になるには」(2002/なるには BOOKS)、「アートのみかた」(2010/BankART)、「いかに戦争は描かれたか」(2017/BankART 1929)など多数の著書を出版、朝日新聞や北海道新聞に美術評を書くかたわら BankART スクール校長を務め、長年に渡り日本の美術界に大きく貢献してきました。美術に関する書き手としてはよく知られている村田ですが、13 年前より作家としての制作も同時に再開、ジャーナリストらしいユニークな視点で制作された作品を発表しています。



(左) 「豆腐絵画」2006 板・布・油彩 (右) 村田真「プチ戦争画」(2015)の一部、板に油彩、サイズ可変

この度の SNOW Contemporary での個展「上の空」では、フェルメールの《デルフトの眺望》やドラクロワの《ポワティエの戦い》など数々の歴史的名画の上半分のみを描いた作品群を発表いたします。村田はこれまで、フェルメールの「画中画」や、高橋由一の「豆腐」を考察しキャンバス自体を豆腐や焼き豆腐、油揚げに見立て描いた「豆腐絵画」、東京国立近代美術館におさめられている戦争画全 153 点を 20 分の 1 に縮小・模写した「プチ戦争画」シリーズなど、絵画史を引用したユーモラスな作品群を発表してきましたが、今回は世界的によく知られるドラマティックな名画の上半分に着眼した作品シリーズとなります。絵画作品の「上の空」部分は画面のおよそ半分を占めているにも関わらず、個々の作品の判別は困難であることに気づくでしょう。鑑賞者は、名画の上半分だけ描かれた作品を鑑賞することで、オリジナル作品を判別しようとし、その場所がどこで、主題がなんであるか想像を巡らせることになるでしょう。

本展によって得られる新たな視点が、絵画を成立させる諸要素をあらためて考察する機会となれば幸いです。

■村田 真 / アーティストステートメント

絵画には主題があり、主題を読み解くことが絵画の理解への第一歩となる。たとえばフェルメールの《デルフト眺望》の主題は、タイトルどおりデルフトという街の眺めだが、驚くことに街景は画面下半分に収まり、上半分は空（雲）しか描かれていない。これは、低地のオランダは空が広いことを表わしていると同時に、地上では人々が日々の生活を営み、街が刻々と変化しているのに対し、空は何千年も何万年も変わらず悠久の時を刻み続けているという、天と地の対比を表わしていると読み解くこともできる。主題は街景だが、その街の息づかいを強調するためにあえて空を大きく描いたのではないか。ドラクロワの《ポワティエの戦い》も、ターナーの《奴隸船》も、ジェリコーの《エブソムの競馬》もそうだ。いずれも画面下のほうでは壮絶な争いを繰り広げているが、上を見ると「なにをちまちま小競り合いをやってるんだ」といわんばかりに大空が広がっている。主題なんて「上の空」なのだ。たまには主題に振り回されず「上の空」を眺めてみたい。そんな「上の空」ばかりを描いてみた。

2018年5月29日

■村田真 略歴

アーティスト、美術ジャーナリスト

1954年、東京生まれ。
東京造形大学絵画専攻卒業。

1977 ぴあ株式会社入社。
1984 ぴあ株式会社退社。
2005 絵画制作を再開。

■主な個展

2017 「『プチ戦争画』シリーズ」 SNOW Contemporary / 東京
2011 「世界の巨匠シリーズ」 ナディッフギャラリー / 東京
「絵画芸術」 BankARTスタジオNYK+新港村 / 横浜
2009 ZAIMギャラリー / 横浜
1978 「村田（写）真展」 白樺画廊 / 東京

■主なグループ展

2015 「戦争画STUDIES」 東京都美術館
2013 「The HUMANISATION」 東京都美術館
「新しい壁」 WALLS TOKYO 2F / 東京
2012 「BOOK - Chapter1」 MA2ギャラリー / 東京
「一枚の絵の力」 ナディッフギャラリー / 東京
「一枚の絵の力」 日和アートセンター / 宮城
2011 「任意の点を「R」とした展覧会」 竜宮美術旅館 / 横浜
「表現するファンソーサブカルチャーの表象たち」 札幌芸術の森美術館
「The Civilization」 銀座西欧ギャラリー / 東京
1976 「日常生活活動委員会」 楡の木画廊 / 東京

■お問い合わせ — 本展の広報にご協力賜りたくお願い申し上げます。

SNOW Contemporary

〒106-0031 東京都港区西麻布 2-13-12 早野ビル 404

tel & fax : 03 6427 2511

mail : snow@officekubota.com

HP : <http://snowcontemporary.com>

担当 : 石水美冬 (いしみず みふゆ)